

Q5

豚は一度に何匹の子豚を産むの？

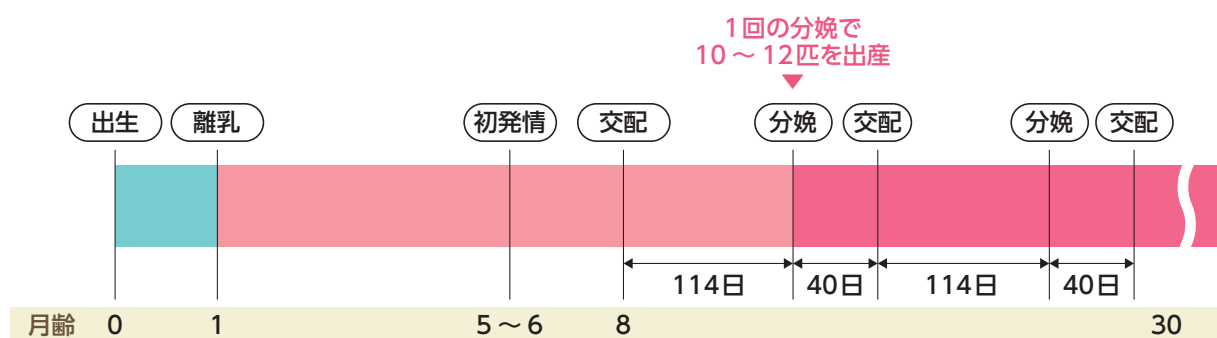
A

1回の分娩で生まれる子豚は10匹ほど。

母豚は出産・妊娠を短期間で繰り返し、

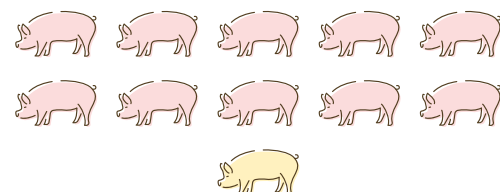
1年間で約20頭もの子豚を産みます。

母豚（繁殖豚）のライフサイクル



豚は自然交配が一般的で、通常、雌10頭に対して雄（種雄豚）1頭の割合で飼育されています。

雌豚は生後8か月頃になると交配を行い、約114日間の妊娠期間を経て、1回に10匹ほどの子豚を出産します。母豚が子豚に母乳を与える期間は30日程度。離乳後はすぐに妊娠・出産を繰り返すため、1年におよそ2回のペースで年間20頭程度の子豚を産みます。



♀ 10頭 × ♂ 1頭
(交配)

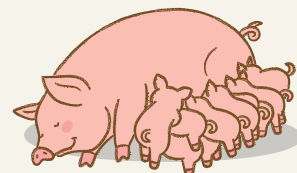
年間約20頭を出産



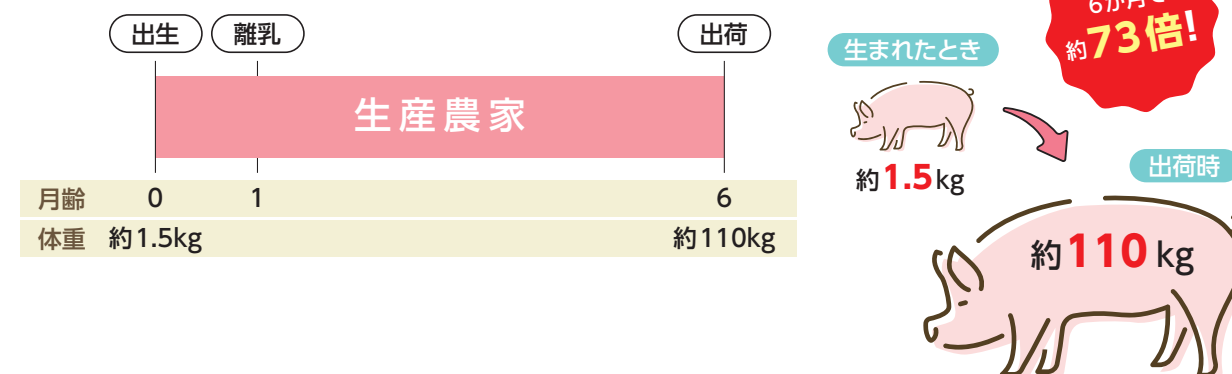
家畜の中で
産子数
No.1

母豚の授乳の仕組み

母豚の体には、胸からお腹にかけて12個程度の乳首があります。母豚の乳首は、授乳時に1匹の子豚が1つの乳首に吸い付いても母乳が出てきません。たくさんの子豚が一度に乳首に吸い付くと刺激が脳に伝わり、母乳を一斉に出す仕組みになっており、多くの子豚をそろって育てられるようになっています。



肉豚のライフサイクル



生まれてすぐの子豚は、栄養満点の母乳を飲んで育ちます。特に「初乳」と呼ばれる産後12時間以内の母乳は、子豚の病気や下痢を防ぐ抗体が豊富。人間は妊娠期間中も抗体を赤ちゃんへ移しますが、豚は初乳を飲むことで抵抗力をつけ、元気に育つことができます。子豚は、生後10日目くらいから徐々に飼料を食べはじめ、離乳後は栄養価の高い飼料を食べて大きく育ちます。

また、意外と知られていませんが、豚は寝る場所と排泄する場所を分けて生活するほどきれい好きです。豚舎の住み心地は豚の発育スピードや肉質にも関わるため、生産農家は清掃や消毒、温度管理など、豚にストレスを与えない環境づくりに努めています。

のびのびと育った豚は、100～120kgの成熟体重になると出荷されます。出荷時期は豚や飼料の価格、脂肪の交雑や厚さの状態によって異なりますが、一般的に約6か月齢で出荷されます。



豚の産子数



大ヨークシャー種
産子数：約10頭



ランドレース種
産子数：約10頭



デュロック種
産子数：約8頭



バークシャー種
産子数：約8頭